

家畜市場 価格の推移 (3月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	6	6	100.0%	258,120	45,360	116,820	59
	雄	145	141	97.2%	159,840	20,520	121,690	64
計	151	147	97.4%	258,120	20,520	121,496	64	
F1	雌	270	264	97.8%	271,080	62,640	201,324	64
	雄	259	251	96.9%	360,720	68,040	250,273	67
計	529	515	97.4%	360,720	62,640	225,289	66	
ホルス(5才) 雌	46	42	91.3%	367,200	65,880	205,177	746	

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	7日	535	462	86.4%	1,584,360	406,080	990,877
南北海道	9日	97	83	85.6%	1,261,440	562,680	901,566
釧路	14日	337	282	83.7%	1,379,160	565,920	961,855
根室	15日	529	448	84.7%	1,292,760	503,280	932,860
豊富	16日	277	226	81.6%	1,212,840	669,600	951,284
北見	22日	416	306	73.6%	1,294,920	231,120	897,653
十勝	23日	551	465	84.4%	1,472,040	354,240	963,046
合計		2,742	2,272	82.9%	1,584,360	231,120	942,734

業務報告 (3月分)

- 2日 広島県牛乳普及協会及協会会員合同研修会
- // 酪農経営支援総合対策事業推進全国会議
- 5日 家畜排泄物関係技術研修会
- 6日 西部・高宮DMS入力会
- 7日 ひろく女性グループ連絡協議会三役会
- // Milk Japan企画運営会議
- // 東部DMS入力会
- 8日 三原市酪農振興会慰霊祭
- // 備北・南部DMS入力会
- 12日 乳業協会下期ブロック会議
- // 北広島町酪農団体連絡協議会役員会
- 13日 総務・生産合同委員会
- 14日 第一回食育推進会議
- // 甲奴郡酪農組合役員会
- 15日 生産委員会・生産基盤強化対策委員会
- 16日 広島市酪農振興協議会通常総会
- // 庄原市逸品づくり事業ご当地グルメリモ披露目会
- // 酪農ヘルパー調整会議
- 17日 第三十六回ひろくB&Wシヨウ
- 19日 全酪連ブロック別組合長会議
- // 庄原みるくの会花見会
- 20日 ひろく女性グループ連絡協議会交流会・講演会
- 22日 全農和牛TMRセンター竣工式・披露式
- // 広酪メンバースクラブ総会
- 23日 山陽乳業(株)取締役会
- // 三次市酪農振興会視察研修
- 27日 中国生乳販連会員実務責任者会議
- // 庄原地域酪農振興会視察研修
- 28日 第十二回理事会
- // 酪農収益強化対策協議会幹事会
- 29日 JA広島中央会通常総会
- 30日 口和町酪農組合・高野町酪農組合意見交換会
- 30日 福山地方酪農協議会大仙祭
- 31日 山陽乳業(株)卸卸監査

編集後記



▼平成三十年年頭の本誌表紙写真には「とんど祭」で撮影した写真をもつてきた。

▼これには、組合関係者やその家族などすべての方々の「無病息災」を願い、この文字を添えました。

▼あれから早くも四ヶ月が経過し、この間、生乳への抗生物質混入による廃棄、集乳車両の事故や故障、集乳車乗務員の怪我、牛舎火災、酪農ヘルパー出役時における要員の怪我などが生じております。

▼災害・怪我・事故に遭われた関係各位に対して、衷心よりお見舞い申し上げます。

▼改めて、事故、怪我、災害が何故発生したか、未然に防ぐことも出来たのでは無いかなど、当事者各位には、自問自答を繰り返された方もあろうかと存じます。

▼「注意一秒・怪我一生」や「油断大敵」など、注意を喚起する熟語の一方で、「不可抗力」の熟語も脳裏を掠めます。

▼果たして、前述の事故や怪我は不可抗力であったかどうかに触れ、再発防止を意識した行動が必要と考えますが如何でしょうか。

▼「喉元過ぎれば熱さ忘れず」のことわざから、再発防止の為、再点検をお薦めします。

▼話題一転、平成二十九年度の生乳受託数量は、四万五千九百七十六・九トンと前年対比九十六・八%に止まりました。

■市町別生乳受託量の進捗状況(3月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	29年度累計	前年比(累計)
庄原市	868.2	22.5%	96.2%	10,385.1	96.5%
三次市	637.2	16.5%	88.5%	7,870.7	94.4%
世羅町	596.6	15.5%	100.1%	7,187.5	100.6%
北広島町	479.3	12.4%	109.8%	5,376.8	106.2%
東広島市	350.0	9.1%	105.8%	3,822.0	96.8%
安芸高田市	334.2	8.7%	82.4%	4,408.1	97.2%
府中市	220.5	5.7%	102.0%	2,541.4	97.4%
福山市	138.7	3.6%	95.6%	1,579.3	99.5%
広島市	83.1	2.2%	109.9%	958.1	98.8%
三原市	81.7	2.1%	101.1%	960.8	84.6%
呉市	53.5	1.4%	100.4%	632.0	102.6%
神石高原町	17.1	0.4%	43.3%	255.3	33.1%
合計	3,860.2	100.0%	96.4%	45,976.9	96.8%

■プール乳価(3月分)

プール乳価	110.397円
前月分プール乳価	111.640円
前月対比	98.9%

■生乳生産量など前年同期比較(3月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	59戸	47.2%	269,051.5
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	66戸	52.8%	-310,820.5
合計	125戸	100.0%	-41,769.0

注)この比較は、平成30年3月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。
(廃業組合員は含まない)

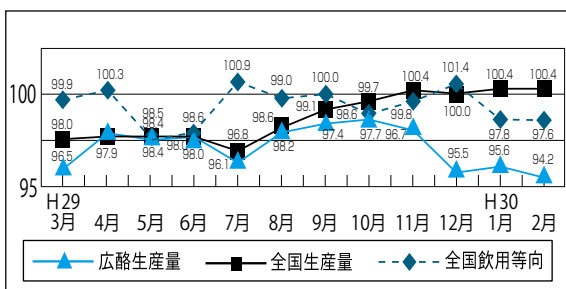
■生乳受託実績(3月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	38	11	38	38	125
生乳出荷量(トン)	1,345.9	403.6	896.7	1,214.1	3,860.2
前年同月対比(%)	92.9%	105.1%	97.7%	97.0%	96.4%
前月対比(%)	113.8%	117.0%	113.9%	113.9%	114.2%
生乳出荷累計(トン)	16,382.7	4,454.0	10,742.9	14,397.4	45,976.9
広酪構成比(%)	35.6%	9.7%	23.4%	31.3%	100.0%

■市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(2月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	42,253	755	29.7%	55.96円
2	三次市	33,980	564	23.9%	60.25円
3	安芸高田市	16,420	309	11.6%	53.14円
4	府中市	14,177	195	10.0%	72.70円
5	北広島町	10,487	404	7.4%	25.96円
6	福山市	7,171	123	5.0%	58.30円
7	世羅町	6,841	527	4.8%	12.98円
8	東広島市	4,419	71	3.1%	62.24円
9	三原市	4,282	296	3.0%	14.47円
10	神石高原町	1,247	13	0.9%	95.92円
11	呉市	480	74	0.3%	6.49円
12	広島市	341	48	0.2%	7.10円
	合計	142,097	3,381	100.0%	42.03円

■生乳需給の前年比推移(2月) (単位:%)



た。この結果の裏には、抗生物質治療牛から誤搾乳が端緒となって、廃棄生乳が生じたことも含まれますが、平成三十年度は、貴重な一滴の生乳の廃棄が生じないよう注意をお願いしたいものです。

▼話題一転、四月一日からの改正「畜産経営の安定に関する法律」に併せて、生乳流通の仕組みが変更され、酪農家は自由に生乳の出荷先を選ぶことが可能となった中で、前年度において生乳出荷のある組合員の全員から広酪への委託販売の選択を戴き、広酪はその全量を中国生乳販連に委ねることになりました。

▼生乳委託数量は、四月中旬になって、生乳生産日量は百三十二トンとなりましたが、最低限、この調子で一年間を乗り切ってほしいと願うばかりです。

▼なぜならば、平成三十年度において、生産生乳量に関して広酪委託出荷を決定戴いた生産者からの積上乳量は、四万六千四百八十六トンであり、単純に目標数量が達成出来るとの考えからであります。

▼「そうは問屋が卸さない」、「考えが甘い」とか関係者それぞれからの声が聞こえそうです。これから猛暑厳しい日が襲いかかってくるものと想像しますが、暑熱対策など十分配慮され、大切な愛牛管理と、生乳出荷量の目標達成に頑張っていただくことを期待してやみません。

(A・N)